



2期目
【38歳】

川内たかゆき後援会便り

元気みなぎる通信

2019年
秋号

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6
TEL・FAX: 0986 (77) 5298

《令和元年もひたすらに》

新秋の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、川内たかゆき並びに後援会に対して格別の御支援、御指導を賜り厚く御礼申し上げます。令和元年も残すところあとわずかとなりました。一年一年が短く感じられ、限られた4年の任期の中で結果を出していくことへの焦りも感じております。限られた期間での貴重な一日一日をしっかりと成果に結び付けられるように努力してまいります。令和の時代も、ぶれることなく走り、動き、伺ってまいります。元気みなぎる都城を目指し精進してまいります。引続き宜しくお願い致します。

都城市議会議員 川内 賢幸

【平成30年度都城市歳入歳出決算承認】

9月定例会（議会）では、通常の一般会計補正予算などの審議とは別に前年度の決算審査を行います。

今回は、「平成30年度都城市歳入歳出決算」を審査しました。

●決算概要

30年度の決算規模は、一般会計当初予算額「1005億73841千円」に対し、歳入決算額「960億64911千円」、歳出予算「927億86499千円」となり、**32億78412千円の黒字**という結果でした。

●財政力指数

「財政力指数」とは、地方公共団体の財政力を示す指数であり、財政力指数が高いほど自主財源割合が高くなり、財政力が強い団体となります。「1」に近い程財源に余裕があることとなります。

30年度の財政力指数は「0.535」で、前年度と比較すると**0.012ポイント上昇し改善**しているという結果でした。

●経常収支比率

「経常収支比率」は、毎年の収入（地方税、普通交付税など）に対し、経常的経費（人件費、扶助費など）決まった支出が占める割合であり、80%を超える場合は、財政構造が弾力性を失いつつあるとされています。適性は80%以下。

30年度の経常収支比率は、93.4%で、前年度と比較すると**4.1ポイント上昇し悪化**しているという結果でした。

●公債費負担比率

「公債費負担比率」は、公債費充当一般財源（地方債の元利償還金等の公債費に充当された一般財源）が一般財源総額に対し、どの程度の割合になっているかを示す指標であり、15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされています。

30年度は、14.9%で、前年度より**0.8ポイント減少し改善**しているという結果でした。

●市債の状況

一般会計における市債の30年度末現在高は718億8694万円で、前年度と比較すると**24億2022万7千円減少**しております。これにより、市民一人当たりの市債残高はおおよそ**43万7632円（前年比2.1%減少）**となります。ちなみに、平成30年度末の国の借金は1103兆3543億円（前年より約1.5兆円増）であり、国民一人当たり**886万円**となっています。

9月議会での目玉事業【子どもの医療費助成拡大の方針！】

9月議会において、来年度から子どもの医療費助成を拡大する方針であることが示された。これまでは、未就学児の通院・入院無料であったが、県内でも遅れを取っていた。これまでの取組で、未就学児の医療費負担の価格差是正や無料化の提案を続けてきたが、この度、これまでの乳幼児助成に加え、**対象を小中学生まで拡大し、入院は無料、通院については200円/月（1医療機関ごと）**という方針が示された。

使ってください！川内たかゆき！！ 皆様の困りごと、疑問に思っていること、要望等お気軽にお問い合わせください！

080-5602-4463（本人直通）

《令和元年6月・9月議会 一般質問及び議会概要》

◎6月議会一般質問

【中心市街地の活性化について】

中心市街地にMallmallが完成し一年間で延来場者数が200万人を突破したが、周辺商店街等にはその実感はなく、Mallmallだけで物事を進めている。周辺の商店街との連携をしっかりと行い、市民を周辺へ回遊させる取組をこれまで以上に取り組むべきであり、健康増進と合わせて、こけない体づくりのまちなか実施やウォーキング周遊イベント企画、健康診断イベント等多面的、多角的な取組を行い、老若男女が楽しめる、集まるイベントを充実させるよう提案。

【健康寿命延伸への取組について】

本市のがん検診の受診率は著しく低い状況である。毎度の取組成果が出ていないのであれば、新たな視点で、がん検診の受診率向上に向けて積極的に取り組んでいくべき。こけない体づくり講座等も中心市街地で実施するよう提案。

【子育て窓口の一本化について】

本市では子育て関連の窓口として「保育課」「こども課」がある。市役所の同じ場所に隣接して窓口があるが、どちらが何を所管しているのか分かりづらい。子育てしやすいまち、子育てにやさしいまち、わかりやすくあったかい子育てができるまち都城のためにも、窓口一本化するよう提案。

【犬猫の適正飼養について】

犬猫の多頭飼育崩壊がみられる。無責任な飼養を防ぐこと、犬猫の避妊やTNRなどの取組を推進するよう提案。



9月議会一般質問

【これらか先の農業振興について】

国はこれから先の農業としてスマート農業を推進している。スマート農業を推進していくためには、これまで以上に本市の農業基盤整備を行う必要がある。そのための農地の集積や集約は必要不可欠である。また、平場の農地集積だけではなく、中山間地域の農地集積にもこれまで以上に力を入れるべき。さらに、効率的な農業を行うためには集積だけではなく畦畔除去による集約を進めていくようにこれまで以上の取組を提案。

【豚コレラへの対応について】

本市の養豚産業は自治体別全国1位である。現在、豚コレラ発生から一年が経過したが、終息どころか更に広がり続けている。国は全養豚農場に柵を設置する考えを示した。その場合、1/2補助を活用しても農家の負担額は相当なものになり、飼養管理基準の見直しなども必要になり負担ははかりしれない。これまで以上に、国・県と積極的に連携を図るとともに、口蹄疫の悲劇を繰り返さないためにも、養豚日本一の自治体として先手先手の取組をとるよう提案。

【安心安全の子育て環境充実について】

来年度より、子どもの医療費助成が拡大予定のため、財源や検討されている基準を質問。

また、放課後児童クラブや放課後等デイサービスへのAED設置率が50%程度のため100%に向けて取組するよう提案。児童館等についてはこれまでの提案により100%になった。この他、子育てママ等のリフレッシュや安心して子ども預けられる託児所の増設や一時預かりの対応改善などの環境整備を行うよう提案。

【最近の活動報告】



【各種 地域行事参加】



【PTA活動】



【山之口花木あげ馬祭り】



【おかげ祭り】



【骨髄バンク活動】



【まち協小学生企業見学】



【総務委員会視察 / 伊勢崎・足利・栃木】



【市民との意見交換 / 子育て支援】



【和牛品評会・セリ市等】



【都城青年会議所活動】



【会派視察 / 新潟・富山・岐阜】



【保育園・小中学校運動会】